



9日は今年いちばんの暑さという正午からの訴え。幸いにもマイクを置いて訴える場所は、商店街の入口前の大幅な歩道で唯一、樹木の影がある。津川・筆頭代表理事、たけうち・兵庫2区予定候補などがマイクで訴え。兵庫労連の岡崎事務局長、日本共産党の平松・前平和部長、いしずえ会の岡本会長、日本ベトナム

友好協会の長沼さんなどが日本政府への署名を訴えるも通行人も暑さでバテ気味か反応が宜しくない。それでも駆け寄って、「自民党の総裁なんて誰になっても今より良くなるよ」と声をかけながら、「なんで核兵器禁止条約に賛成しないのか不思議！」と言って署名をしにくる方も。署名は16人とどまったが、国連がはじまる9月にいっそう頑張ろうと話しました。

(兵庫県原水協事務局長・梶本修史さんのFacebook投稿より)

【新潟】意識的に若い世代にアタック



新潟県原水協は9月6日に6・9行動。署名の日、であるとともに今朝の朝ドラ「虎に翼」は、原爆裁判判決の日～偶然にも6・9行動日にピッタシの展開。今日は署名の訴えにも力が入りました。今朝の朝ドラ、見ましたか。この60年代の判決文「原爆被害の甚大なこと・・・それは、立法府である国会、および行政府である内閣において、果たさなければならぬ職責である。そこに立法、および立法に基づく行政の存在

理由がある。我々は、政治の貧困を嘆かずにはおられないのである」との文言、この趣旨を現代に敷衍するならば、被爆国の日本政府が至急に核兵器禁止条約に参加し、核廃絶の先頭に立つべきということにつながる、朝ドラを見て共感・共鳴した人は全員ここで訴える署名に賛同してほしい、といつになく、訴えに力が入りました。

特に若い人にアタックしましたがなお、あまり反応がない。5筆。それでも、1人だけ、高校生、原爆・核兵器反対は当然と署名してくれ、高校生の被爆絵展示のところへ案内、説明。会話の中で、「はだしのゲン」を読んだことがあるとのこと、また高校3年生だと。理系、文系？ですかと聞くと、理系。理系のどの方面を考えてますか？工学、理学、農学・医学？返ってきた答えは地学、と。これは、奇遇。周りの友人に署名訴えられませんかと聞くと、難しい、と。でももし気が変わったら、訴えてみてください、と署名用紙を1枚渡すと受け取ってくれました。若い世代、大きな課題です。まだ明確な答えは見つかりませんが、やってみる・試してみたい方向だけは、あります。

(新潟県原水協代表理事・赤井純治さんのFacebook投稿より)